わがやのにんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん･お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？
ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。

沼尻 真美加ちゃん

寛之・まゆみさんの長女 長塚

大好きなお兄ちゃんといつも一緒に遊んでいるので少しおてんばだけど、ママのお手伝いや家族のお世話をしてくれる優しい女の子です。
これからも兄妹仲良く遊んでね。
ママのお手伝いもヨロシクね～。

中山 陽夢ちゃん

佑優多・千晴さんの長男 本城町

恐竜が大好きな、はるくん。
「お友達と一番したい遊びは？」と尋ねると「ガオーごっこ」とのことでした。
特技は変顔、ひょうきんもので、いつも私たち家族を笑顔にさせてくれる、はるくん。
そんな、はるくんは、わが家の太陽です。

三浦 颯介・風花ちゃん

正也・舞子さんの長男・長女 高道祖

今年の1月に、風花が生まれてお兄ちゃんになった颯介。赤ちゃんだった颯介が今では妹をあやしてくれるようになったね。
いつも風ちゃんを可愛がってくれてありがとう。
大きくなっても兄妹仲良く助け合って、これからも元気に成長してね。

わたしからあなたへ さわやかリレー vol.102

前回登場の大島浩さんからの紹介

磯山 仁さん（大木）

友へ感謝

5月上旬、うれしい出来事がありました。音信不通になっていた、大学時代の親友からの電話でした。出張で下妻の近くに来ることになり、私を思い出し、何としてでも会いたくなったとのことでした。
20年ぶりくらいの再会、学生時代の思い出話に花が咲き、とても楽しい時間をもらいました。今度は、彼が住む鎌倉に行く約束をしました。彼が帰った後、友達っていいものだなぁ、といつになく心地よい気持ちが残りました。

私には、友達がたくさんいます。そのことだけが少しだけ自慢できることなのです。消防OB会の友、もう15年くらい続いています。酒をこよなく愛し、好き勝手言い放題、時には傷つくことも、でも絶妙なタイミングでフォローしてくれますので、だまされてしまうというか許せてしまうのです。他にも中学同級会の友、仕事ではゴルフ好き会の友など、たくさんの仲間に囲まれ支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

有料広告欄

口頭詩 子どもの純粋な心のつぶやき

市村 凌大

4歳10か月
（下妻いずみ幼稚園）

ひとりにして
おかあさん
ひとりにして
ごめんね

【解説】
家族四人で外出したときのこと。お姉ちゃんとお父さんが買い物に行き、凌大もあとから「ぼくも～」とついて行き私一人で待っていました。少しすると凌大がもどってきて、私に言ってくれた一言です。
男の子って小さな恋人のようで、思わず、キュンとしてしまいました。
採集 母 市村 彩子

みんなのギャラリー

From SHIMOTSUMA

ふたば文化幼稚園

七夕にねがいごと

◀年長児の皆さん

七夕の由来を、ペープサート（紙人形劇）によるお話で聞き、ふたばっこの心はすっかり、おりひめさまとひこぼしさま。
「さーさーのーは、さらさら～♪」の歌を耳にしながら、和紙染めを使って制作しました。みんなのねがいごとが叶うといいね。

市民文芸

俳句

海底をゆく網棚の夏帽子　鈴木 素香（下妻丁）
梅青し雲の密なる日の続き　山本 一歩（下妻乙）
老農の肩巾確と風薫る　安原百合子（鯨）

短歌

ホウホウと梟が鳴く遠ざかる
吾子の心よ我に返れと　倉田 淑子（原）

馬鈴薯の可れんな花が咲き出でて
風に揺れいる初夏の夕ぐれ　小竹八重子（五箇）

つばくらめ木々の若葉に白き胸
触れんばかりに縦横に飛ぶ　小林美智雄（唐崎）

菜の花のさかりとなりて川岸の
堤に無限の光流るる　山本せい子（下妻丙）

雑草のほしいままなる庭内に
大むらさきの花匂ひ立つ　飯村八重子（半谷）

金平糖手のひらにのせ遠き日を
思ひてひとつゆっくりと食む　伊東 豊乃（加養）

背のびして頬よせくるか迷ひ猫
あまえるしぐさに吾もなごめる　外山富久子（下妻丁）

予科練の兵たりし兄医師の問いに
延命治療のぞまぬを告ぐ　中久喜 和（下妻乙）

ひもすがら松の木に鳴く「ででっぽう」
草引く吾を励ますように　吉原 眞子（高道祖）

有料広告欄